

石黒昭博監修「総合英語 Forest(フォレスト)第6版」桐原書店 2009年12月10日刊を読む

英文法のルールの「なぜ」を知ろう

1. みなさんは英文法が好きですか。学習者の中には、英文法よりも英単語の学習を好む人が多いようです。短い単語を覚えるのはそう負担ではありませんし、「勉強しているぞ」という実感を得やすいからでしょう。
2. しかし、ちょっと考えてみてください。単語をただ並べるだけではコミュニケーションをとることができません。語と語の正しい並べ方を知って初めて、相手に自分の言いたいことを理解してもらえ、また相手が言っていることも理解できるのです。英文法で扱うのは、この語と語の並べ方の「ルール」なのです。
3. 私たちはルールを学ぶ時、「なぜそのルールが必要なのか」と自問します。なぜなら、必要性や理由を納得してからルールを受け入れようとするのが、私たち人間の本質だからです。英文法も同じです。「ルールを覚えさえすればいい」という姿勢では、文法は身につけません。
4. そのため本書は、英文法のルールの「なぜ」がわかることを主眼に編集しました。「なぜを理解する」 - 「基本を確認する」 - 「より深く学習する」という流れでスムーズな学習ができるように、主要な章は3つのPartで構成してあります。特にPart1では、可能な限り文法用語の使用を控え、日本語との対比や概念図を導入することで、学習する項目の本質をとらえることができるよう配慮しました。
5. 本書は刊行後10年を経て第6版を数えることになりました。今回の改訂では、デザインの変更に加え、Part1を中心に新たな説明を追加し、学習者にとってさらにわかりやすい参考書であることを目指しました。また、記述内容を精査し、正確な理解を可能にする最適な解説であることに細心の注意を払いました。
6. 本書は「文法の森」になぞらえて、Forestと名づけました。この森の中で、英語を使っていくうえで必要となる多くの事柄を発見し、体験することでしょう。みなさんがこの森の中で楽しい散策をされることを心から願っております。

[コメント]

中学上級から高校生のためだけではなく一生使える英文法のテキスト、参考書として本書をおすすめしたい。最低6回はゆっくり学習し、基本文は音読、書き取り練習をしてスミからスミまで

正確に身につけること。1年に1回はゆっくりと読み直すことを一生を通じて行えば、英語で困ることはないと確信します。

- 2010年3月13日 林明夫記 -